

■ 3-3 ゲーム画面について

ゲーム中の各種の画面は、下記のような種類に分類できる。

様々なゲームが存在するが、ほとんどのゲームは下記のようなゲーム画面で構成されている。

画面の種類	内容
タイトル画面	ゲームのタイトル（ロゴ）が表示された画面。一般的に、以前の続きからプレイするか、最初からプレイするかを、この画面で選ぶ。スマートフォンのアプリは自動でセーブされ、タイトル画面をタップすると以前の続きからとなるものが多い。
デモ画面	業務用ゲームで主に客寄せのために用意される画面であり「アトラクト画面」と呼ばれることもある。ゲームの内容をざっと見せる画面で、タイトル画面とデモ画面が交互に繰り返される。スマートフォンアプリでは用意されていない。
セレクト画面	ゲーム開始時に、ゲームの難易度や、どのキャラクターを使うか、どのステージをプレイするかなどを選ぶ画面。ゲームの途中で行き先を選ばせるようなセレクト画面が入ることもある。
名前入力画面	主人公や仲間のキャラクターに名前を付ける画面。
オープニング画面	ゲームスタート直後、ゲームの概要や、そのゲームがどういった世界であるか、主人公がなぜその世界で活動するかなどが説明される画面。
ゲーム画面	実際にゲームをプレイする画面。 例えばロールプレイングゲームなら「移動シーン」と「戦闘シーン」に分かれ、アクションゲームなら敵と戦う「アクションシーン」となる。
メニュー画面	主人公や仲間の能力を確認したり、ゲーム中で集めたアイテムを管理するなどを行う画面。
説明画面	ゲームルールや操作方法などを確認できる画面。メニュー画面から入れることが多い。ゲームを進行させ新しいルールや操作が加わった時に、説明画面が挿入されることもある。自動でゲーム説明が行われる場面は「チュートリアル画面」と呼ばれることが多い。
結果画面	与えられた目標をクリアしたり、クリアできず主人公達が倒れた場合に、その結果が表示される画面。クリアできない場合、一般的に「GAME OVER」と表示され、ゲーム再スタートとなる。
エンディング画面	全てクリアした時に見ることができる画面。 例えば主人公達がハッピーエンドを迎えた様子などが描かれる。その後、ゲームの開発に携わった制作者名が表示されることが多く、これは「スタッフロール」や「エンドクレジット」などと呼ばれる。

ここで、ゲームクリエイターを目指す方に質問。

「ゲームとして最低限欠かすことができない3つの画面があります。それらはどれでしょう？」

タイトル画面、ゲーム画面、結果画面の3つ。

この3つを用意すれば、まずはゲームとして成立する。